

水産業競争力強化緊急施設整備事業事後評価報告書

作成部署名 浜田市産業経済部水産振興課

目的	荷捌所内に、排気ガスを発生しない専用の電動フォークリフトを配備し、水産物への汚染防止を図る。また、操作性及び安全性の向上により、水産物の迅速な搬出を可能とし、鮮度保持の強化による魚価安定・向上に繋げる。			
目標	・操作性の向上による市場関係者の労働時間削減 ・衛生管理、鮮度保持の強化による魚価安定・向上に伴う漁業者の所得向上	整理番号		
事業実施主体	浜田魚商協同組合			
実施地区	浜田地区／浜田市			
実施期間及び目標年度	実施期間	目標年度		
	令和2年度	令和5年度		
助成金額	7,062千円			
事業計画の内容	高度衛生管理型荷捌所の整備により、荷捌所内で排気ガスを発生させない専用の電動フォークリフトを配備し、水産物の汚染防止等による魚価向上のほか、操作性及び安全性の向上による作業の軽労化を図る。 ・電動フォークリフト配備台数：11台			
評価	取組の目標（KPI）	受益対象漁業者の漁業所得の向上		
		基準年	（平成30年度時点） 116,584 千円	
		現状値	（令和5年度末時点） 42,210 千円	増加率 ▲63.8%
		目標値	（令和7年度末） 128,242 千円	増加率 10%
	成果目標	操作性の向上による労働時間削減効果		
		現状値	（令和5年度末時点） 2,287 千円	
		目標値	（令和5年度末） 3,235 千円	
	（1）現状値の説明	令和3年3月に地元まき網漁船2ヶ統のうち1ヶ統の海難事故が発生し、以降1ヶ統のみの操業となったため、漁業所得は大幅な減少となった。成果目標についてもまき網漁船1ヶ統減による取扱量減少の影響が大きく、目標値未達（達成率70.7%）となった。		
	（2）地域への経済効果	目標未達ではあるが、労働時間削減効果はあった。また、設備導入前と比べて単価の向上がみられる。（マアジの単価（3年平均）：導入前210円、導入後297円）		
	（3）所見	海洋環境の変化、漁船老朽化などにより水揚量が減少傾向にあるなか、地元まき網漁船1ヶ統が海難事故により廃業したことが追い打ちをかけることとなり、目標未達の主因となった。一方で、操作性の向上による労働時間の削減、水産物の汚染防止、魚価の安定・向上という目的は実現している。		
（4）評価機関への意見等	-			
今後の改善方向等に関する分析	地元まき漁船1ヶ統確保や地元外漁船の入港促進等により水揚量の増加を図ることで便益確保を目指す。			